整理No.	46

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	231-03	基本施策	生活環境の保全	所管部局	環境部
施　策　名	公害防止対策の充実			主担当課	環境政策課
				関係部局課	保健福祉部長野市保健所環境衛生試験所
施策の目標	大気・水質・騒音などに関する環境基準の達成・維持や、生活騒音等の防止に向けた啓発により、健康で安全な生活環境の形成を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・市民の環境に対する関心が高くなっており、大気汚染や騒音等の公害が心配されている。 ・大気汚染や水質汚濁、騒音など社会・経済活動に伴う環境汚染について、大気汚染防止法、水質汚濁防止法及び長野市公害防止条例等に基づく環境監視や調査により実態を明らかにするとともに、事業場等への立入・指導を行い環境汚染を未然に防止し、良好な生活環境を保全する。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
大気環境基準達成率	%	76.47	77.78	77.78				77.78
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
環境基準が設定されている大気測定項目のうち、環境基準を達成した割合	過去の状況を踏まえるとＯＸ４局の達成が難しいことから、他の14局（項目）の達成による現状維持を目指す。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
中小河川13河川のBOD平均値	mg/l	1.7	2.4	2.0				2.0
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
市内中小河川13河川のBOD平均値	平成18年度から平成22年度の実績値の変動が大きいことから、同５年間の平均値が2.4mg/lであることを踏まえ、長野県が定めた「主要河川・湖沼水質環境基準類型指定」に基づく市内河川環境基準点での水質保全目標値の2.0mg/l以下の維持を目指す。							

25年度の取組内容実績	・環境基準点、事業所排水等の水質検査328検体、大気常時監視延べ有効測定14,932日を実施した。 ・大気、水質、ダイオキシン類の常時監視測定を実施した。事業所立入については、大気汚染防止法60件、水質汚濁防止法111件、ダイオキシン類対策特別措置法10件、騒音規制法９件及び特定粉じん排出等作業立入23件を行い、適正な排出について確認・指導を行った。市民等から寄せられた公害苦情処理は123件だった。 ・自動車騒音面的評価区間延長40.2kmの常時監視測定結果のほか、一般環境騒音調査７地点の測定を行い、概ね良好な状態であることを確認した。また、高速道路騒音調査６地点、新幹線鉄道騒音振動調査４地点の測定を行い、超過地点の改善を各運営事業者に要望した。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	大気汚染について、環境基準が設定されている18局（項目）の測定を行い評価している。平成23年度から最近関心が高まっているＰＭ2.5の測定を開始しており、県設置の測定局とあわせ２地点で測定し結果を提供している。 市内中小河川13河川のＢＯＤ値は、河川Ａ類型の環境基準値を目標としている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	大気環境基準達成率は、目標を達成。 中小河川ＢＯＤ平均値は、１河川の数値は目標値を超過したが他の12河川は目標値以内であり、目標を達成した。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	事務事業については、「生活環境公害対策」の騒音・悪臭に関する苦情件数は、目標値に達していないが28年度の目標値に向け徐々に減少している。他の事業については、概ね目標を達成している。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	正確な検査データを提供するため、検査における高い分析精度と検査結果の信頼性の確保が必要である。	検査結果のチェック体制を確立するとともに、分析担当者の検査技術の研さんに努める。
2	事業所等の施設が適正に維持管理されないと、排出される公害原因物質等による環境の悪化により、市民が健康や生活環境の悪化の被害を受けるおそれがある。	継続測定による経年変化の把握による状況分析や発生源に対する調査や指導を行い、環境モニタリングや監視・指導を実施する。 また、市民から寄せられる苦情や相談に対して、迅速適切に対応する。
施策展開の方向性（H26年度以降）	・市内の大気汚染や水質汚濁等の状況を関係法令に基づき常時監視し、更なる測定体制の充実と効果的な検査により迅速正確なデータを提供する。 ・事業所等からの公害原因物質等の排出について発生源に対する調査や指導を行うとともに、環境モニタリングや監視・指導体制の充実を進める。 ・地下水の揚水量の把握や監視により、地盤沈下被害の未然防止に努める。	

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	環境衛生検査 ［サービス提供事業］ 環境衛生試験所	大気・水質等の環境測定、事業所排水の検査等を行い、大気汚染や水質汚濁の動向を把握し、環境汚染を防止する。	環境測定計画に沿って、概ね目標どおり実施した。
2	環境汚染対策 ［サービス提供事業］ 環境政策課	大気・水質等の汚染状況の常時監視や、事業場等への立入調査や排出水検査などの結果から公害発生源の監視・指導等を行い、環境汚染を未然に防止し市民の健康や生活環境を保全する。	大気環境基準達成率は、目標を達成。 中小河川ＢＯＤ平均値は、１河川の数値は目標値を超過したが他の12河川は目標値以内であり、目標を達成した。
3	生活環境公害対策 ［サービス提供事業］ 環境政策課	事業場等の騒音測定や臭気測定等を実施した上で、公害発生源への対策指導等を行い、環境汚染を未然に防止し市民の健康や生活環境を保全する。	騒音や悪臭など人の感覚によるものの苦情は規制基準値以下でも発生するため、目標の40件に対し51件と超過したが、合計件数は減少傾向にある。
4			

番号	事務事業の分析結果 達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	年度別事業費（千円）（H26は予算額） H23	H24	H25	H26
1	B	B	A	B	B	継続	36,285	37,961	36,321	39,707
2	B	A	A	B	B	継続	75,392	74,980	72,085	79,638
3	B	A	A	B	B	継続	19,421	18,496	18,368	19,474
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26